

# 令和 〇〇 年分収支内訳書 (一般用)

(あなたの本年分の事業所得又は雑所得の金額の計算内容をこの表に記載して確定申告書に添付してください。)

この収支内訳書は機械で読み取りますので、黒のボールペンで書いてください。

提出用

(令和五年分以降用)

令和 年 月 日

「営業等」又は「雑(業務)」のいずれかを選択してください。

営業等
  雑(業務)

(自 〇〇 月 〇〇 日 至 〇〇 月 〇〇 日)

整理番号 〇〇〇〇〇〇〇〇

科 目		金 額 (円)	科 目		金 額 (円)
収入金額	売上(収入)金額 ①		経 費	旅費交通費 ㊷	
	家事消費 ②			通信費 ㊸	
	その他の収入 ③			広告宣伝費 ㊹	
	計 (①+②+③) ④			接待交際費 ㊺	
売上原価	期首商品(製品)棚卸高 ⑤			損害保険料 ㊻	
	仕入金額(製品製造原価) ⑥			修繕費 ㊼	
	小計(⑤+⑥) ⑦			消耗品費 ㊽	
	期末商品(製品)棚卸高 ⑧			福利厚生費 ㊾	
差引原価(⑦-⑧) ⑨		の		㊿	
差引金額(④-⑨) ⑩		の		㊻	
経 費	給料賃金 ㊱		の	㊼	
	外注工賃 ㊲		の	㊽	
	減価償却費 ㊳		の	㊾	
	貸倒金 ㊴		の	㊿	
	地代家賃 ㊵		の	㊻	
	利子割引料 ㊶		の	㊼	
その他の経費	租税公課 ㊿		の	㊽	
	荷造運賃 ㊽		の	㊾	
	水道光熱費 ㊾		の	㊿	
経費計(㊱~㊾までの計) ㊿			の	㊻	
専従者控除前の所得金額(㊿-㊿) ㊽			の	㊼	
専従者控除 ※ ㊾			の	㊽	
所得金額(㊽-㊾) ㊿			の	㊾	

## ○給料賃金の内訳

氏 名 (年齢)	従事月数	給 料 賃 金		合 計	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
		賞 与	円		
( 歳)	月		円	円	円
( 歳)					
( 歳)					
その他( 人分)					
計	延べ従事月数			㊿	

## ○税理士・弁護士等の報酬・料金の内訳

支払先の住所・氏名	本年中の報酬等金額	左のうち必要経費算入額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
	円	円	円

## ○事業専従者の氏名等 ※

氏 名 (年齢)	続 柄	従 事 月 数
( 歳)		月
( 歳)		
( 歳)		
延べ従事月数		

## 【税務署整理欄】

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

※ 雑所得の金額の計算において、事業専従者控除を受けることはできません。

